

第5回 市民と市長の「語ろう会」 ご意見一覧(要約)

第1部 吉祥寺北町地域の課題/北町特有の水害地域の対策について、コミセン周辺の住宅環境の変化および今後の見通しについて

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	豪雨時にマンホールから雨水が逆流して浸水被害がある。豪雨時に駐車場が浸水するため、車を移動する必要があるが、市の許可を得ていることを証明する表示があるとよい。	関係機関と相談し、道路冠水のため緊急的に車を避難していることが認識できるような表示方法を研究したい。
2	JR社宅が撤退する予定と聞いたが、市が敷地を取得して豪雨対策用の貯留槽を建設できないか検討してほしい。	JRが今後どのように利用するか(そのまま保有、連携、売却)まだ決定していない状況である。今後の利用状況にもよるが、JR等に対して雨水流出抑制等を図るための対策を行うよう要望しつつ、市は浸水対策について検討していく。
3	落ち葉対策と排水溝管理の課題について、公園から流れてくる落ち葉が排水溝をふさぎ、浸水被害の原因になっている。定期的な清掃を検討してほしい。	落ち葉がグレーチングを塞いでしまう問題は認識している。道路管理の部署と、公園管理の部署、下水施設管理の部署が連携して対応する必要がある。清掃回数は限られるが、スケジュール調整を含め、改善を検討していく。落ち葉は秋など一時期に集中することから、どうしても行き届かないところもあり、ご自宅の前の清掃などについて、市民の皆様のご協力もお願いしたい。
4	公園と道路の落ち葉清掃の連携について、公園の落ち葉清掃と道路の清掃スケジュールが異なり、タイミングがあわないため調整してほしい。	道路管理の部署と公園管理の部署で適宜現場を見回っている。清掃回数は限られるが、スケジュールの調整を含め、現場状況を踏まえて対応していく。
5	水害対策用貯留槽の容量増加について、保育園下の貯留槽は4500トンだが、線状降水帯のような大雨では不十分である。もっと大きな貯留槽の設置を検討してほしい。	今後も、公共・民間施設等において、浸水被害軽減に寄与する下水道の施設設置を検討する。
6	雨水が貯留槽を超える前に排水する仕組みについて、堰の高さ等の改善の可能性を検討してほしい。	北町雨水貯留施設は、豪雨の際に適切に貯留施設に流れ込むよう堰を設けており、溜まった雨水は晴天時に排水するような仕組みになっている。堰を低くしてしまうと少雨でも貯留施設に流れ込んでしまい、雨天が続くと必要量を貯留することができなくなり、冠水被害が大きくなってしまふ恐れがある。適正な雨水処理ができるよう、豪雨時における貯留施設への流入については、今後も注視していく。
7	北町は静かな住宅街だが、武蔵野プレイスのような人が集まる施設があるとまちが活性化するのではないか。また、ロードマップを作成して市民と一緒に進めてほしい。	閑静な住宅街への賑わいについてのご意見は様々だと思われるので、貴重なご意見の一つとして承る。
8	JR敷地撤退予定と防犯都市計画への対応について、JR敷地の3～5号棟は2026年3月に撤退予定と聞いたが、その後の防犯対策や都市計画上の対応が不透明である。市がJRと地域住民の話し合いの場を設定できないか。	JRとの協議の中で、一度地域の方々と話し合いができる場を設けられるかをJR八王子支社に伝える。市の防犯対策として、武蔵野警察署と連携し、交差点、駅ロータリー、公園など犯罪に利用される恐れのある場所や危険と思われる場所などに、街頭防犯カメラを令和7年度40ヶ所、令和8年度25ヶ所設置予定である。また、全世帯を対象に、自宅への防犯カメラ等防犯設備の設置費用に対して、5万円を上限に9割を補助する制度を実施中である。各家庭での防犯対策と市の街頭防犯カメラの相乗効果で、より安全性が高まると考えている。令和7年9月に消費者被害防止ステッカーを作成した。自宅インターフォンや自宅電話用に貼って活用いただきたい。
9	子ども広場の保存と都市開発時の対応について、子ども広場はJR所有地に位置する重要な施設なので、開発時に廃止されると困る。代替地確保など市の対応方針を早期に示してほしい。市の方針を示す際には市報だけではなく、通学区である四小保護者へもお知らせいただきたい。	この規模の公園が不足していることは認識しており、減らしたくない。一方で子ども広場は現状、JR所有地の借地公園である。市としてはまちづくり条例で敷地3000㎡以上の開発は条例で6～10%公園設置が必要としていることもあるほか、公園確保、貯留槽設置、水害対策等を要望していきたい。

第2部 市政全般について

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	路上喫煙や路上飲酒が増加傾向で、マナーが悪くなっている。入り口対策としての規制強化を希望する。	吉祥寺活性化協議会からも要望を受けている深刻な問題と認識している。 来年から3か年を「環境浄化特別強化期間」と位置づけ、路上喫煙や客引き対策などに力を入れた取り組みを行う予定であり、ブルーキャップなどパトロール隊員の強化も検討中である。 喫煙トレーラーハウスの増設を含め広く対策を検討している。
2	クマ対策の必要性について、八王子等でクマが出没しており、武蔵野市でも何か対策を考えておいた方がよい。	多摩地区西部のあきる野市で出没しているが、本市には出していない状況である。 現状では、本市に出没する可能性は極めて低いと考えられるものの、万一の場合は、都環境局作成の大型獣類等出没対応マニュアルに沿って、関係機関と連携と図りながら、対応を行っていく。
3	ハクビシンやライグマなどの小動物被害への対応が必要だと思っている。 【当日の意見から追加】 害獣対策としての空き屋対策を望む。	ハクビシンやライグマについては、市内の建物で被害を受けた建物所有者又は管理者からの申し出を受け、箱罠の設置により駆除を行っている。 ねずみについては、市民税非課税世帯で65歳以上のみの世帯に対し、専門業者派遣による相談サービスを実施し、ほかに年1回、専門家による市民向けのねずみ対策講習会も開催している。 市民の皆様にもごみ出しの時間帯を守ったり、草地の草を刈っていただいたり、ご協力をお願いしたい。 小動物被害については、環境政策課が個別相談に応じている。 【当日の意見から追加】 害獣対策としての空き屋対策：近隣住民等から空き家等での小動物について相談を受けた場合は、現地確認を行い、状況に応じて空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、所有者等を調査し、適正な管理をお願いする旨を通知している。
4	南病院移転と医療機関の整備について、南病院の休診の詳しい経緯を知りたい、また今後の医療体制について、新しい病院建設に向けて、医師会との協力、ベッド数の確保等がどうなっているのか知りたい。	吉祥寺南病院は築50年以上で老朽化が進み、停電等の施設トラブルが頻発したため、安全上の理由から令和6年9月末をもって診療休止している。 現在、吉祥寺南病院を事業継承した医療法人が新しい病院の建設に向け、市医師会と協議しながら整備プランの検討、調整を行っている。ベッド数については、救急医療や災害時医療の機能確保や病院運営の持続性等の観点から、もともとの吉祥寺南病院の病床数である125床以上への増床を目指し、東京都等と調整している。
5	ムーバス30周年と運転手不足への対応について、ムーバス30周年の記念行事を評価する一方で、バス運転手の不足等の課題について、今後の対応方針を聞きたい。	ムーバスの運行開始から30年になる、11月26日に記念イベントを実施した。 運転士不足は全国的な課題だが、6号路線(三鷹・吉祥寺循環)は新規採用した路線バス運転士をムーバスに配置することで、11月1日から通常運行を再開している。 今後も運転士確保と離職防止に向けた対策を継続していく。
6	市民への情報発信意見聴取方法の改善について、「語ろう会」は直接対話の場としては良いが、より広範な市民の声を聞くため、属性別のヒアリング方法の工夫が必要。また、「目安箱」アプリの活用促進についても検討してほしい。	従来より「市長への手紙」制度で市民と市長の一対一で意見を伝える制度があったが、いただいたご提案を、市民に広く共有する仕組みとして「目安箱」という制度を試験的に実施し、試験実施のなかの課題を整理し、本格実施に入った。市民の声から事業化されれば市民のモチベーションも高まると思う。「目安箱」事業の認知度をあげる課題もあるが、それらを整理し市民の声を広く聞いていきたい。
7	バリアフリートイレが赤ちゃんのおむつ交換台中心で、高齢者や障害者の介護用ベッドなど多機能化が不十分。複数の機能を一台で備えられる製品活用の検討をしてほしい。	赤ちゃんのおむつ交換だけでなく、高齢者や障害者も利用できる多機能トイレの必要性を認識している。 1台で複数機能を備えた製品の存在を確認し、今後の改修新築時に活用を検討する。 すぐには改造できないが、スペース確保の可能性とともに検討を進める。
8	オープンデータの活用とDX推進について、市が保有するデータの公開と民間企業との連携により、安全に帰宅できるサービスなど社会課題解決に役立つアプリ開発の推進をしてほしい。	DXについては、CIO補佐官を任用するなどして推進中である。 オープンデータについては、市として基本方針を定めて平成30年度から市公式ホームページで公開している。また、都の依頼により、国や都の統一フォーマットによるデータも都のWEBサイトで令和5年度から公開を進めている。オープンデータ活用に係る民間企業との連携についても都の事業として推進されており、市としてもデータ提供等を通じて協力しているところである。

事前に文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	吉祥寺エリアから市役所への公共交通によるアクセスがなく不便。ムーバス北西循環を延伸し、緑町コミセン〜クリーンセンターをとおり、扶桑通りに戻ってはどうか。	ムーバスは、バス交通空白・不便地域を解消し、市民の街への外出を支援することを目的としている。 ムーバスは、路線バスと共存していくことが大切であり、運行ルートができるだけ重複させないことが前提となっている。市役所などの公共施設を結ぶルートを増設することは、路線バスのルートと重複する可能性が高いため、これ以上の増設は難しいと考えている。

当日文書で提出された意見(要約)

No.	ご意見	市の回答対応方針
1	北町雨水貯留施設の水位情報やハザードマップを市のホームページで検索した際、ページがなかなか検索できなかったり、ハザードマップについては拡大した際、凡例が消えてしまって情報がわかりにくいのでそれぞれ改善してほしい。	市ホームページで公開している北町雨水貯留施設やハザードマップの情報が容易に閲覧できる方法を検討する。また、ハザードマップは画像情報での掲載となるため、画像を拡大した際には凡例の閲覧ができなくなる状況にあることから、地図上に表記を記載(現在記載しているような「市役所」等)する等、分かりやすいマップの作成に努める。
2	ペットの糞尿のマナーも良くないので、対策と啓蒙をしてほしい。	市報や市ホームページ等において、散歩時の糞尿マナーについて啓発しているほか、市内で登録された犬の全ての飼い主に対し、毎年3月に発送している狂犬病予防接種の案内通知の際にも、マナー徹底の周知を行っている。 また、糞尿被害で困っている家主向けに、市役所や各市政センターでマナー啓発プレートを配布している。
3	ねずみについて、何回か私も駅前“ハモニカ横丁”等で見ているので、当該地は戦後80年も経っていて、一等地をいつまでも古いままにしている、もったいない。その辺りの商店街が何とかしてほしい。	吉祥寺駅周辺のネズミ対策については、現在、市ではネズミの捕獲や巣穴の対策を進めているとともに、飲食店などのゴミの管理の徹底を各商店会を通じてお願いしているところである。 また、ハモニカ横丁は、吉祥寺ならではの魅力を有しており、市内外から多くの来街者が訪れている一方、建築物の耐震性や老朽化の進行等の問題を抱えている。全ての人が安全・安心に過ごせるよう、都市のリニューアルを促進し、地域の魅力を生かしたまちづくりを進めていく。
4	市の体育館とプールの改修建て替えの長期間、市民のスポーツ環境がゼロになることについて、事業団の理事長は代替の方策を考える旨発表していたが、具体的にはどのようなことが市民一般に知らせてほしい。	総合体育館等体育施設の指定管理者である武蔵野文化生涯学習事業団では、改修期間中を活用し、これまで体育館に足を運びにくかった方やスポーツ教室の存在を知らなかった方々にも知っていただく機会とするため、市内の公共施設や学校施設をお借りし、スポーツ事業の実施・充実を進めていくとのこと。市としても同事業団と協力し、体育施設休館中の市民大会等の会場確保などに努めていく。
5	市内の小学校について、1校12学級以上が設置基準ということだが、第四小学校が現在12学級とぎりぎりなので心配している。武蔵野市の小学校は福祉の会、防災会など住民の活動の単位になっており、万一統合されると、大きな影響があるので慎重に検討してほしい。	11月6日に開催した第二期武蔵野市学校施設整備基本計画策定審議会において、審議会として、小中学校の適正規模を1校あたり12学級以上18学級以下にまとめた。ご意見にあるように、小学校区は、通学距離、地域コミュニティと密接に関連しているため、小学校区を変更する場合に大きな影響があると認識している。今後の検討の際には子ども、保護者、地域の意見を聴きながら慎重に進めたい。なお、今回の審議会へ諮問された内容は、「子どもの学びを第一に、全市的な視点から中学校の適正な数や未来における教育を見据えた校舎のあり方について」であり、小学校の数は論点になっていない。
6	「語ろう会」の運営について ①会場が少し寒かった。次回はロビー開催にしてほしい。 ②もっと地域の20〜40代の方々が集まる方法ができると思う。 ③残り時間の表示が発言者の目に留まる様に提示されていなかったのを改善した方がよい。 ④会の性質上、どのテーマも短時間で終わってしまうので、水害関連のヒアリングなど、1つのテーマを特定した会が必要ではないかと思う。 ⑤携帯電波がつながる場所で開催してほしい(QRコードを使ってもフォームに飛べなかった)。	①今後は会場の温度管理に十分配慮する。開催場所は検討する。 ②現在もSNSによる周知をするなど、20〜40代の方の集客も目指しているが、実際の参加につながるよう、引き続き検討していく。 ③〜⑤今後の開催において、考慮していく。
7	市役所の食堂の活気が無いので、市民がおいしい、また来たいと言える場所にしてほしい。	事業者の運営に関して指導する立場にないが、ご意見を担当課へ共有した。

8	武蔵野市立中央通り公園の遊具が多すぎてずるい。公園の木が大きすぎると、北町公園に木が多すぎて太陽がとどかない。	個々の公園単位で考えるのではなく、地域の公園緑地を一体的にとらえ、学校や公共施設、自然・文化・歴史資源などとの連携も考慮しながら、地域全体のバランスを考えた公園づくりを行っている。また、各公園内の樹木剪定を定期的に行い、適正な樹木管理に努めている。
9	文化面の対策、とりあえず図書館が少ないと思う。	武蔵野市では吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅の3駅圏で各1カ所の図書館を設置すると計画づけており、現状では吉祥寺図書館、中央図書館、武蔵野プレイスといった比較的規模の大きい図書館を3館設置している。自治体によっては、小型の図書館を多数設置する形で運営するなど、設置方針は様々ではあるが、都内の他自治体と比べても、総床面積や総資料数等では、多い部類となっており、図書館施策は比較的充実させていると認識している。
10	市営の画廊を設置してほしい。	作品を売買する場でもある画廊を、市として設置するのは難しいと考えている。美術品に関して、市では吉祥寺美術館にて収蔵作品を紹介しているほか、多様なジャンルの表現を紹介する各種企画展等の開催や市民創作発表の場になる「市民ギャラリー」としてもご利用いただいている。
11	各家庭の木の処置をもっと真剣に考えるべきだと思う。	民有樹木の管理にかかる支援方策や樹木や落ち葉などのリサイクルなどについて、現在、(仮)緑の基本計画2027策定のために設置している緑化推進審議会の中でも議論されるものと考えている。
12	コミセンの若返り。定年になった方が地域のボランティアにたずさわってほしい。	コミュニティ協議会の活動に限らず、定年直後の方が地域活動に気軽に携われる仕組みを作っていくことが地域活動の活性化のために重要なことだと考えている。現在、高齢者の方の社会参加を支援するような仕組みづくりを検討している。
13	固定資産税、ほんの少しでも工夫して下げてください。	固定資産税は、所得に応じ課税する住民税などとは異なり、資産価値に応じてご負担いただく税金のため、収入や年金などの違いによって税の軽減をすることができない。また、固定資産税の税率は地方税法で標準税率によるものと規定されているため、税率を下げることは難しいと考えている。近年の地価の上昇により、負担が大きくなっていることは認識している。
14	高齢化が進むなかで男性の社会貢献の将来が心配。60才定年→65才→70才と老化する中で、退職後の社会進出が難しくなる。気楽に近所付き合い、お手伝い等に参加出来る社会の実現を工夫していきたい。70才から80才まで元気で地域に貢献出来る雰囲気、体制がほしい。	現在、市では高齢者の方の社会参加を支援するような仕組みづくりを検討している。また、市民社協では、シニア世代の方が地域で活躍するための後押しとして、2000年から「お父さんお帰りなさいパーティ」(通称:おとぼ)事業を実施してきた。この「おとぼ」について、昨今の社会情勢をふまえて内容の見直しを行い、今年度より「地域デビューむさしの」と名称を変えて新しく実施していく。この事業を通じて、地域活動・地域貢献のはじめの一歩を後押ししたい。